

## ★ 学校施設・整備の充実

各学校の施設、設備及び教職員の居住改善に努めながら、今後も児童生徒数の推移を見極め、その将来展望を的確に判断しながら、昨年11月に策定した小平町学校再編計画の実現に向け、保護者や地域との連携を密にして、子どもたちにとって最適な教育環境の整備に努めます。

また、老朽化してきた鬼鹿小学校の改築にむけて、校舎の耐力度調査を実施します。

## ★ 社会教育の推進

平成22年度からスタートした「第5次社会教育中期計画」に基づき、「笑顔が広がり、共に学び合い、豊かな心を育み、心身ともに健やかに自立した活動ができるまち」づくりを旨とし、町民一人ひとりの学習活動を支援します。

## ★ 笑顔が広がるまち

あいさつがこだまする町を目指し、あいさつ運動の推進を図ります。

子どもから高齢者が集える場所づくりを推進するため、昔の遊び教室や放課後子ども教室等、「世代間交流事業」を継続して取り組みます。

## ★ 共に学び合えるまち

町民の学習成果の活用を図るため「生涯学習リーダーバンク」の登録促進を図るとともに、「学校支援ボランティア」としての利用促進を図り、地域全体で学校を支援する体制整備に努めます。

乳幼児同士、母親同士の情報交換や交流の場等を提供する「うちの子一番クラブ」、「子育てサロン」の開催や子育てサポーター、町関係部局と連携した子育て支援事業を継続して取り組みます。

「子ども読書活動推進計画」に基づき、読書習慣の定着を図るための環境整備に努め、図書室の機能を活用して、町民の読書ニーズと学習意欲に対応した関係図書の実践や図書情報の提供に努めます。

また、道立図書館等との連携を図りながら、幼児期から本に親しむ環境づくりや小学校でのブックフェスティバル

・読み聞かせ、小中学生を対象とした読書感想文コンクールの実施等、子ども達の読書に親しむ環境づくりや情操教育に努めます。

## ★ 豊かな心を育むまち

サポーターズクラブとの連携により舞台芸術鑑賞事業を促進するとともに、幼児から中学生に至るまで、素晴らし生生の芸術に触れる機会や町内の各種文化に触れる機会の提供に努めます。

また、「鬼鹿松前神楽保存会」等、郷土芸能の保存、伝承に取り組む団体への支援に努めます。

文化協会加盟団体や各種サークル団体の活発な文化活動に対し、今後とも自由に活動できる環境整備に努めます。貴重な郷土資料については、保存整理とデータ等の整理に努め、展示公開や情報提供を通じて、その保存・継承に努めるため、その施設整備に向け検討を進めます。

## ★ 心身ともに健やかなまち

生涯を心身ともに健やかで、

活力ある豊かな暮らしを保持するためには、生涯スポーツの振興は極めて重要です。

町民の健康保持・体力向上等の健康管理対策は医療費削減効果も望めることから、町関係部局と連携した幼児から成人まで、それぞれの世代を対象とした各種スポーツ教室の開催に努めます。

小学生やスポーツ愛好者の成果の確認の場として、町体育協会や各スポーツ団体との連携のもと更なるステップアップが図られるよう努めます。

当町は、留萌管内では唯一海洋スポーツができる施設を有し、夏の体験型スポーツとして町内外の子ども達等の研修授業として活用されていることから、今後も近隣宿泊施設との連携のもと利用の拡大に努めます。

スキースポーツは、冬期間の地域住民の健康増進、子ども達の野外教育活動の場として欠かせないことから、安全で楽しい生涯スポーツができるようスキースポーツの管理運営に努めます。

## ★ 自立した活動ができるまち

男女共同参画時代の到来に伴い、各婦人団体との連携を図りながら、学習機会の提供とその内容の充実に努め、地域づくりの中核を担う婦人活動の支援に努めます。

姉妹都市少女文化交流事業は、お互いのまちを理解し、広い見識が身に付く大変意義のある社会体験事業です。当町では児童数の減少等により、参加人数も減少傾向にあります。子ども達の成長が期待できる大変意義のある事業であることから、今後とも継続して取り組みます。

## ★ おわりに

以上、教育・文化・スポーツにわたり平成24年度の教育行政執行方針を述べましたが、その執行にあたっては、各関係機関及び関係団体との連携を図りながら、本町教育の更なる充実と発展に努めますので、議員皆様方をはじめ町民各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。教育指針の一端とします。